

# 事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク
2 事業名称	九州子ども交流会 in 宮崎
3 実施日時	平成22年11月13日(土)～14日(日)
4 実施場所	宮崎県延岡市

5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)*できるだけ詳細に 九州各地で活躍している団体が、各地区の子どもの団体や学校へ九州各県からの参加を促した。 現地見学交流会では、宮崎県延岡市の豊かな自然環境と水害被災地および防災施設の現地見学会を講師および現地の「語り部」とともに、環境教育と防災教育の融合した交流を実施した。</p> <p><b>【ステージ発表・パネル発表】</b> オープニングでは、延岡東東海小学校の生徒の皆さんが、「大武權伝馬踊り」を披露した。なお、実行委員会特別賞「がんばろう宮崎賞」とした。 ステージでは、九州各地の子どもや学生の 14 団体が活動を発表し、別室に移動してパネルの前でPRをした。 また、招待団体として、韓国釜山市の生態保全市民模範 生命網 じむぐりがえる学堂の皆さん 33 名が、韓国の水環境活動について発表した。</p>																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">団体名</th> <th style="width: 40%;">テーマ</th> <th style="width: 20%;">活動地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然塾「楽園里山」</td> <td>夏休み自由研究応援プロジェクト：水質指標生物による河川調査と標本作り</td> <td>宮崎県小林市</td> </tr> <tr> <td>リバーフェスタのべおか子ども実行委員会</td> <td>リバーフェスタのべおか</td> <td>宮崎県延岡市</td> </tr> <tr> <td>こぼと児童館</td> <td>ぼくらは川の探検隊</td> <td>宮崎県延岡市</td> </tr> <tr> <td>青空エコクラブ</td> <td>ホテルの棲む川を目指して!!～青柳川はまちの宝物～</td> <td>宮崎県宮崎市</td> </tr> <tr> <td>河野太一</td> <td>清流北川の川ガキ大将</td> <td>宮崎県延岡市</td> </tr> <tr> <td>ひかり児童クラブ</td> <td>川は大切な私たちの友達</td> <td>宮崎県延岡市</td> </tr> <tr> <td>NPO法人アザメの会</td> <td>アザメの瀬は、一年中楽しい自然学習の宝庫</td> <td>佐賀県唐津市</td> </tr> <tr> <td>YNHC(青少年博物学会)</td> <td>中高生が水辺を案内したよ!!</td> <td>福岡県直方市</td> </tr> <tr> <td>佐賀県立武雄高等学校・科学部</td> <td>外来魚の生息するため池における魚類相の変化</td> <td>佐賀県武雄市</td> </tr> <tr> <td>はかたわん海援隊</td> <td>はかたわん海援隊</td> <td>福岡県福岡市</td> </tr> <tr> <td>東海大学白川エコロジカル・ネットワーク</td> <td>川を通じた、人・地域との関わり</td> <td>熊本県熊本市</td> </tr> <tr> <td>大分工業高等学校</td> <td>竹田湧水群の水質調査</td> <td>大分県竹田市</td> </tr> <tr> <td>鹿児島建設専門学校建設環境学科</td> <td>重富干潟の環境モニタリング</td> <td>鹿児島県始良市</td> </tr> <tr> <td>福岡大学工学部社会デザイン工学科</td> <td>樋井川流域雨水タンク大作戦</td> <td>福岡県福岡市</td> </tr> </tbody> </table>	団体名	テーマ	活動地域	自然塾「楽園里山」	夏休み自由研究応援プロジェクト：水質指標生物による河川調査と標本作り	宮崎県小林市	リバーフェスタのべおか子ども実行委員会	リバーフェスタのべおか	宮崎県延岡市	こぼと児童館	ぼくらは川の探検隊	宮崎県延岡市	青空エコクラブ	ホテルの棲む川を目指して!!～青柳川はまちの宝物～	宮崎県宮崎市	河野太一	清流北川の川ガキ大将	宮崎県延岡市	ひかり児童クラブ	川は大切な私たちの友達	宮崎県延岡市	NPO法人アザメの会	アザメの瀬は、一年中楽しい自然学習の宝庫	佐賀県唐津市	YNHC(青少年博物学会)	中高生が水辺を案内したよ!!	福岡県直方市	佐賀県立武雄高等学校・科学部	外来魚の生息するため池における魚類相の変化	佐賀県武雄市	はかたわん海援隊	はかたわん海援隊	福岡県福岡市	東海大学白川エコロジカル・ネットワーク	川を通じた、人・地域との関わり	熊本県熊本市	大分工業高等学校	竹田湧水群の水質調査	大分県竹田市	鹿児島建設専門学校建設環境学科	重富干潟の環境モニタリング	鹿児島県始良市	福岡大学工学部社会デザイン工学科	樋井川流域雨水タンク大作戦	福岡県福岡市
団体名	テーマ	活動地域																																												
自然塾「楽園里山」	夏休み自由研究応援プロジェクト：水質指標生物による河川調査と標本作り	宮崎県小林市																																												
リバーフェスタのべおか子ども実行委員会	リバーフェスタのべおか	宮崎県延岡市																																												
こぼと児童館	ぼくらは川の探検隊	宮崎県延岡市																																												
青空エコクラブ	ホテルの棲む川を目指して!!～青柳川はまちの宝物～	宮崎県宮崎市																																												
河野太一	清流北川の川ガキ大将	宮崎県延岡市																																												
ひかり児童クラブ	川は大切な私たちの友達	宮崎県延岡市																																												
NPO法人アザメの会	アザメの瀬は、一年中楽しい自然学習の宝庫	佐賀県唐津市																																												
YNHC(青少年博物学会)	中高生が水辺を案内したよ!!	福岡県直方市																																												
佐賀県立武雄高等学校・科学部	外来魚の生息するため池における魚類相の変化	佐賀県武雄市																																												
はかたわん海援隊	はかたわん海援隊	福岡県福岡市																																												
東海大学白川エコロジカル・ネットワーク	川を通じた、人・地域との関わり	熊本県熊本市																																												
大分工業高等学校	竹田湧水群の水質調査	大分県竹田市																																												
鹿児島建設専門学校建設環境学科	重富干潟の環境モニタリング	鹿児島県始良市																																												
福岡大学工学部社会デザイン工学科	樋井川流域雨水タンク大作戦	福岡県福岡市																																												
	<p><b>【体験交流会】</b> 地元の方から子どもたちに歴史や施設について詳しくお話していただき、「豊堤」や「鮎やな」など五ヶ瀬川の個性ある姿を見学した。 参加人数 25 名(子ども 22 名 大人 3 名) 行程 14:30 会場出発 バス移動 14:40「豊堤」到着 五ヶ瀬川 亀井橋 下流右岸 ・豊堤モニュメント箇所の見学 ・豊堤差し込みのデモンストレーション ・紙芝居(五ヶ瀬の豊堤を守る会 木原万里子さん) 15:00 豊堤出発 15:15 「鮎やな」到着 大瀬川 大瀬橋 下流左岸 ・鮎やなを見学 ・鮎やなの仕組みや鮎の生態についての説明(鮎やな責任者 高橋生矢さん) 15:45 「鮎やな」出発 16:00 会場到着</p>																																													
	<p>(事業実施効果) 口蹄疫の影響で開催が危ぶまれましたが、今回は第10回目の記念すべきワークショップであったため、時期を遅らせての開催とした。 九州各県からの子どもの参加を促した結果、開催時期が11月の土日だったにもかかわらず、九州各地の多くの子ども達に参加してもらった。その結果、ステージ発表・パネル発表では、いろいろな情報を交換でき、現地見学交流会では、地元の方から子どもたちに歴史や施設について詳しくお話していただくことができた。 この事業の実施により、自然環境の大切さと災害の恐ろしさが体験でき、環境教育と防災教育の融合したプログラムの構築ができた。</p>																																													

6 参加内訳	総人数	95名
	(1) 主催者参加	8名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く)	54名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く)	33名

7 今後の方針	九州各河川をはじめとする水環境を守り、創るために九州各河川流域のあらゆる場で活躍している人々が、「いい川とは、いい川づくりとは何か」という問題の答えをみんなで探し、お互いの情報を交換し、交流を深め、連携を図る場にするという目的を達成するために、次年度以降も開催していく方針とした。
---------	--

状況写真（オープニング 東海小学校）



状況写真（ステージ発表）

状況写真（ステージ発表）



状況写真（パネル発表）



状況写真（紙芝居）



状況写真（畳堤防 見学）



状況写真（鮎やな 見学）



状況写真（鮎やな 見学）



状況写真(ステージ発表 学生)



状況写真(表彰)

